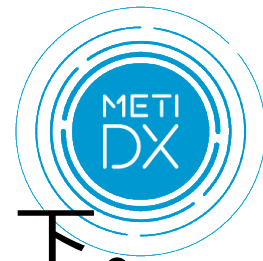




自治体DX推進会議 自治体DX行動プラン





- 日本の自治体の約80%は人口10万人以下。
- より生活の現場に近い自治体に参集して頂き、デジタルトランスフォーメーションの推進について議論

国民・事業者にとって
便利な行政サービスの提供

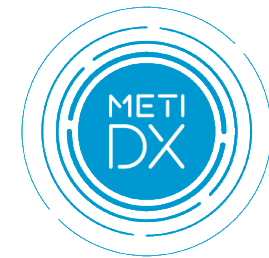


職員の効率的・
効果的な業務の実現



テーマ	ファシリテーター (敬称略)	参加自治体代表
電子申請	平本 健二	船橋市
人材確保	関 治之	港区
子育て・福祉	酒井 一樹	御前崎市
インフラ	榎本 真美	鳥取県
MaaS	角 勝	室蘭市

参加された自治体の皆様（順不同）



- 北海道 室蘭市
- 宮城県 石巻市
- 茨城県 茨城県庁・つくば市
- 埼玉県 戸田市
- 東京都 三鷹市
- 千葉県 船橋市
- 神奈川県 相模原市
- 静岡県 掛川市・袋井市・御前崎市・菊川市・森町
- 愛知県 愛知県庁
安城市・豊田市・知立市・高浜市・碧南市・刈谷市
- 島根県 安来市
- 鳥取県 鳥取県庁
- 愛媛県 西予市
- 福岡県 行橋市・北九州市

26団体が参加



セッションのまとめ

- 新しいテクノロジーを使うことは、費用ではなく投資と考えよう。
- 役所が不便さを生んでいるので、BPRから始めよう。

児童手当が受けられるよう
になりました。

介護補助が受けられるよう
になりました。

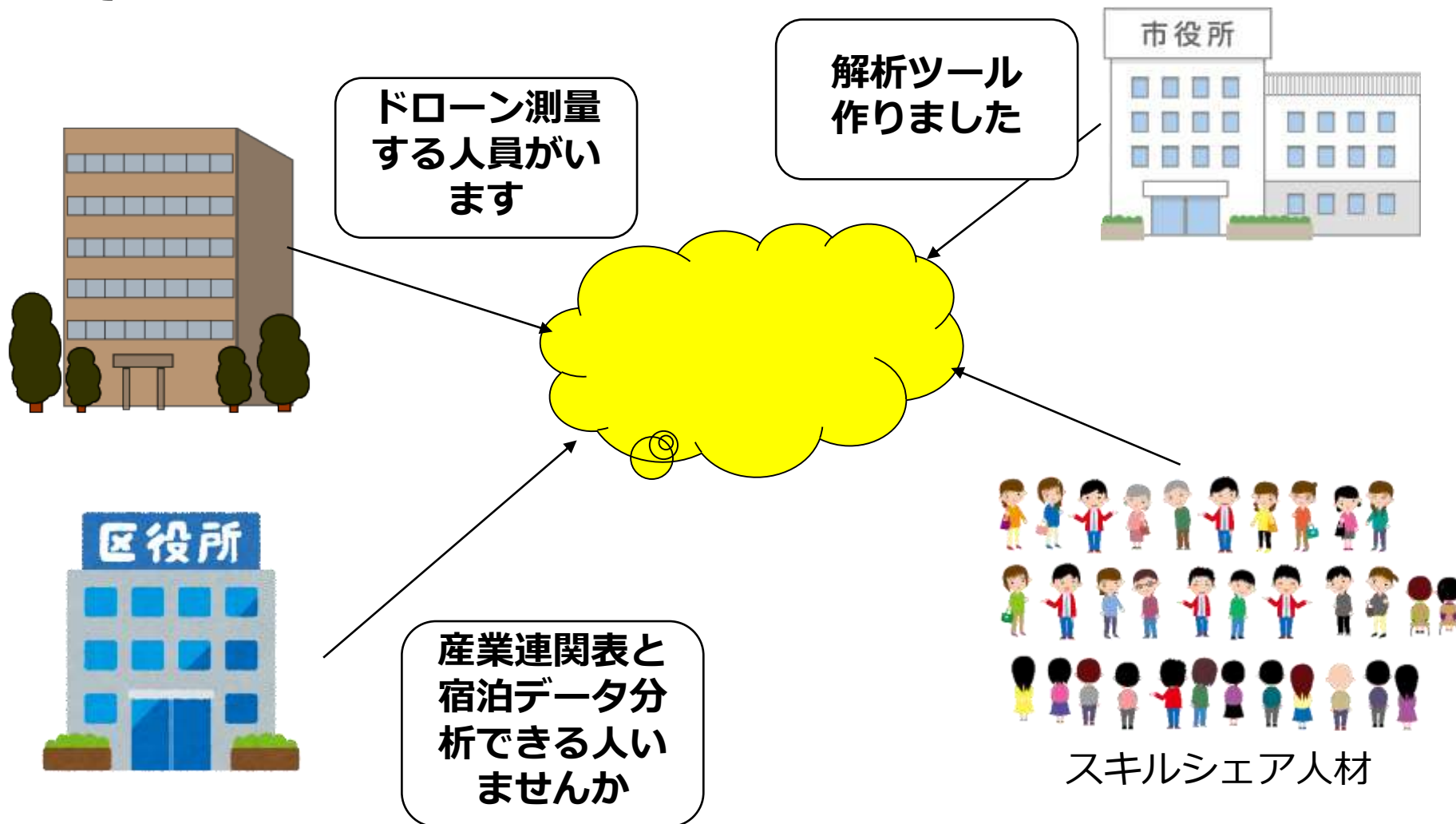
プッシュで通知を受け
手続き不要の社会



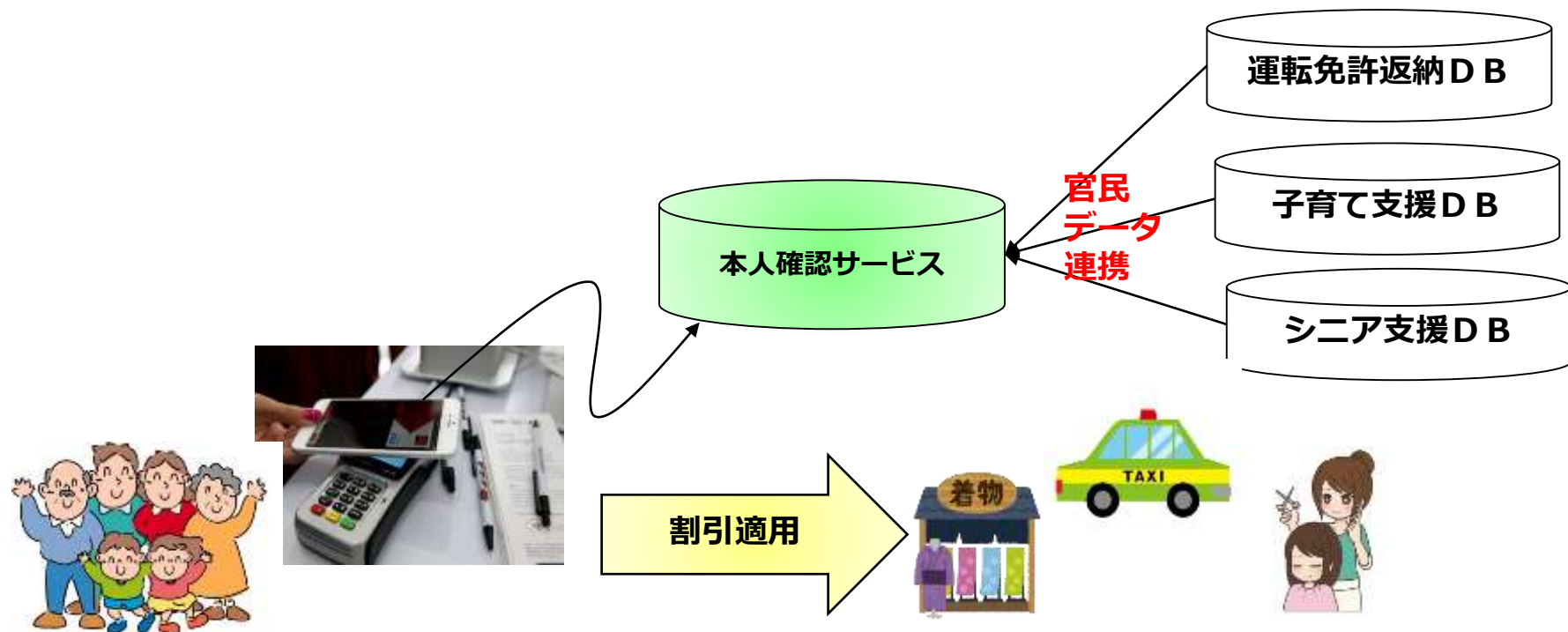
人材確保



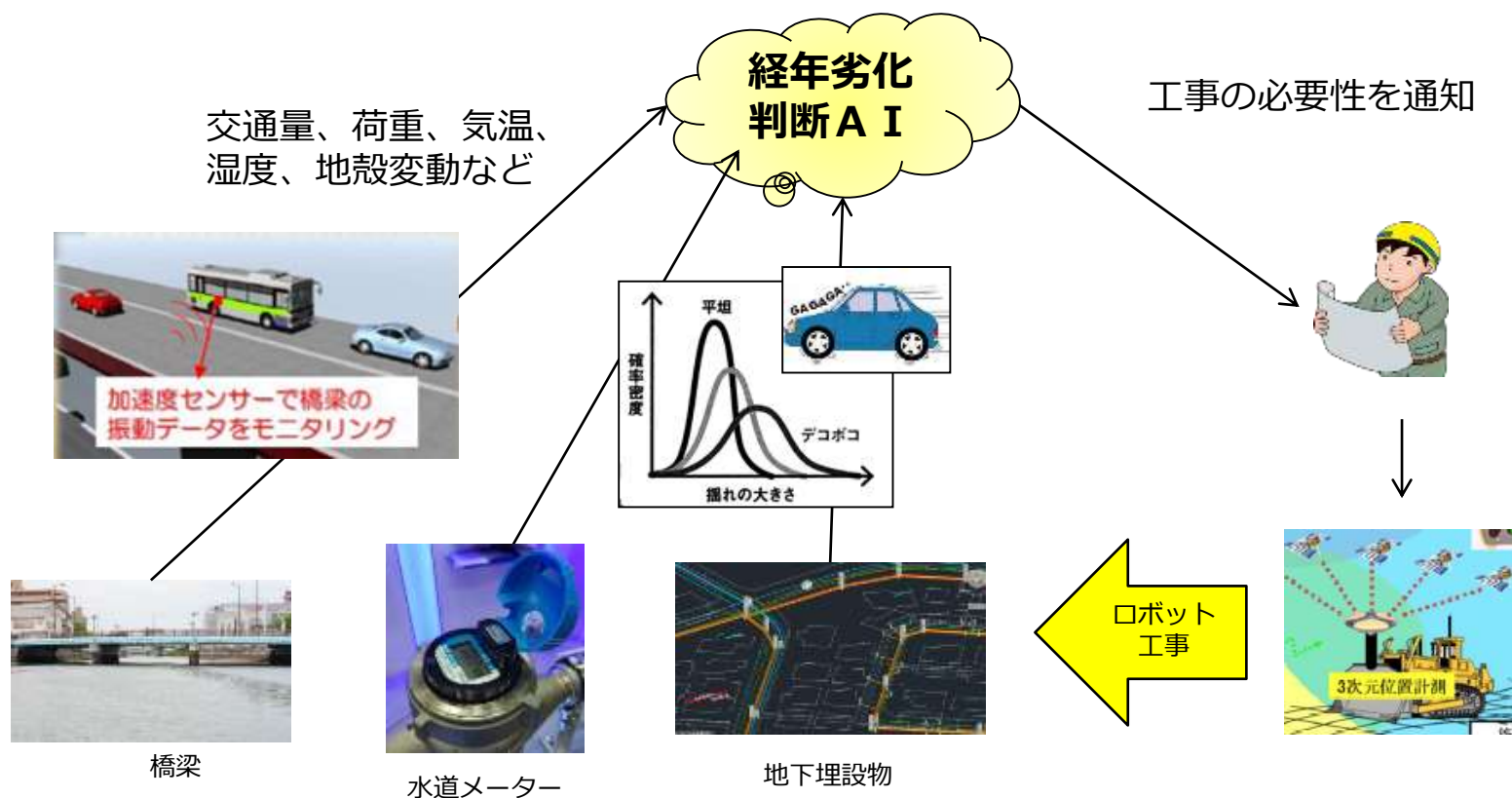
- マッチング、出会い系が大事。
- 自治体・国・民間の情報が見られるポータルサイトを作っ
て！



- IT活用による業務効率化し、削れるところは削り、必要なところへもっていくことが大事。
- 手続きが不要、スマホで完結できるような仕組みを作らなくては！
- 必要な人材を近隣自治体と共有する仕組みや、人材を組合化する仕組みを作れないか。



- 官民の共同管理、市民の協力によるインフラ維持になるのではないか。
- 点検の無人化は必要（制度で使えないケースも多い）

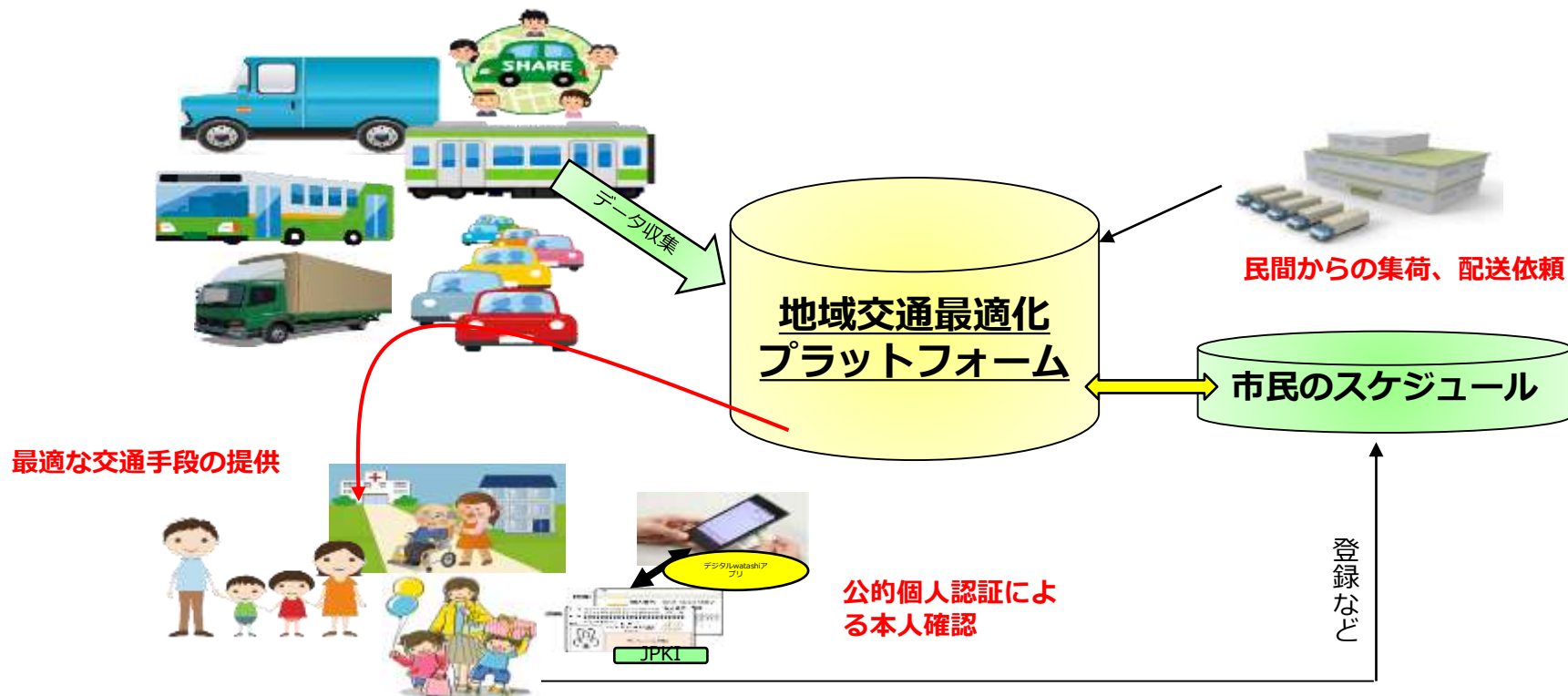


■ スマホ一つで動ける社会を目指そう。

- 札幌市、小樽市を中心とする道央都市圏の公共交通利用者が鉄道で9%、路線バスで13%減少する（2006年比）（読売新聞東京版、2011）

■ 個人データ、官民で分散したデータを利用するための仕組みを考えよう。

■ アジャイル的に進めよう。





自治体DX行動プラン八か条



心得編

■ 常識を疑おう

➤ デジタル技術は想像以上に凄い

■ アナログ時代の制度に縛られない

➤ デジタル視点で根本から変える

■ デジタルを妄想しよう

➤ 新しい技術が目白押し

■ ユーザー目線で考えよう

➤ 身近なところからサービスを改善



行動編

■ やれるところからやってみよう

➤ 最初から完璧を目指さない

■ 自慢しよう。そして褒めよう

➤ あらさがしはやめる

■ 良いところは、どんどんマネをしよう

➤ そのまま使えるものは使ってみる

■ みんなでシェアしよう

➤ 経験を共有し、新たな知恵を創出